

令和6年度 宮城野区障害者自立支援協議会 実務者ネットワーク会議全体会

令和6年6月27日に実務者ネットワーク会議全体会を開催しました。

○令和6年度からの宮城野区自立協のメインテーマについて○

これまでの宮城野区自立協の取り組みや日々の相談支援の事例などから様々なつなぎ目に着目し、関係機関とのネットワークを強化する事で当事者の方に役立つ事があるのではないかとこの事から令和6年度からは「ライフステージ ～支援のつなぎ目に着目して～」をメインテーマに取り組んでいきます。

○宮城野区自立協の体制について○

令和6年度からは全体会を年2回に増やし、1回目と2回目の間にテーマ別会議(選定されたテーマ別に関係者・実務者の方々に集まり、現状への理解を深めると共に必要なネットワーク等の検討を図る)を開催して内容の深掘りと共有を図ります。

○グループワーク○ (3つのテーマに分かれて開催)

①こどもの支援・乳幼児期から学齢期における課題と必要なこと、②障害から高齢制度への移行支援について、③多世代交流・ライフイベントごとの地域とのつながりについて必要なこと

①→ 教育機関と地域の支援者との連携が困難、母親へのバックアップ体制があると良い、進学等で環境が変化する際に本人も親も不安を感じており、ライフステージの変化で躓いてしまう子も多い、といった話があり、教育現場との連携強化、父親を巻き込んでいく取り組み、放デイの事業所が集まって話す機会があると良いといった意見があがりました。

②→ 高齢と障害の制度の違いが分からない、介護保険サービスに移行すると利用時間数が減ってしまう、8050世帯の相談、65歳を過ぎても就労を希望する方が多いといった話があり、高齢障害者が働ける体制づくりや情報・資源の発掘が必要ではないか、本人に分かりやすく介護保険サービスについて説明できるツール(パンフレットなど)があると良い、様々な立場の方が集まり勉強会をしてみたいといった意見があがりました。

③→ 地域との繋がりが持ちづらい、地域のイベント等があっても紹介しづらい、地域に住み続けたいがトラブルが多いと孤立しやすい、誰でも来れるサロンなどが地域にあると良いといった話があり、学校教育の段階から障害に対する理解促進があると良い、触法ケースの支援チームを構築し制度や仕組みを理解できると良いといった意見があがりました。

グループワークでは障害があっても自分らしく地域で生活するための意見があがりました。



投稿コーナー

ペンネーム・そらさんの体験談から見えないつらさや不便さ、だれにでも起こり得ることであること、どのように乗り越え今の自分がいるのかを伝えていきます。

「ホームベース」

一生懸命努力しても報われなかったり、なかなか月並みな幸せが掴めない事が多い私を見て、父が「この子は運のない子」と言っていたと、わざわざ母が伝えてきた事がありました。それ以来、何か大きく嫌な目に会うとその言葉が頭に浮かんで来るようになりました。最近さらには難治性の病が続き、私には望む幸せがあるはずがない、もし人並みに喜び事を得られたら死んでしまうのでは、という長年の呪文のような言葉がまた浮かんできています。いわゆる不幸な時こそ、応援する家族がいて帰れる家があったなら、何が起きててもまだ落ち着いて受け止められたかもしれません。家族って何でしょう。



クリアリングハウス仙台 令和6年度 夏号

(編集・発行) 令和6年8月
地域活動推進センター クリアリングハウス仙台
〒983-0012 仙台市宮城野区出花 1 丁目 3-11
TEL/FAX 022-254-6757
HP <http://clearinghousekilala.biz/>
発行責任者 秋保 明



団体紹介

日本てんかん協会宮城県支部



日本てんかん協会宮城県支部は

日本てんかん協会は、てんかんのある人やその家族を中心に活動している団体です。1973年に「小児てんかんの子どもをもつ親の会」と「てんかんの患者を守る会」の2団体が統合して設立されました。本部は東京にあり、47都道府県すべてに活動拠点となる支部があります。宮城県支部は1980年2月に設立されました。

てんかんのある人が一人で悩んだり孤立したりせず、互いに支えあい、病気と向き合っていけるよう、様々な活動をしています。

活動内容

【交流会】★一緒に語り合しましょう★

○定例会

- ・開催日時：毎月第2土曜日 13時～16時
- ・同じ立場で気兼ねなく語り合える場です。

- ・主な場所：宮城県障害者福祉センター

○レクリエーション活動

- ・サマーキャンプ
- ・クリスマス会
- ・芋煮会 など

【相談活動】★ひとりで悩まないで★

- 電話相談
- 個別相談会

【情報の発信など】

- てんかん講演会・相談会
- てんかんサポート講座・出前講座
- 会報

- ・月間「波」
- ・宮城県支部会報「みやぎの波」



定例会の
様子です😊



参加方法

【参加方法】

問い合わせ・連絡先

宮城県支部事務局（萩原方）

電話・FAX：022-247-0356

【入会申し込み・会費など】

正会員の年会費は 6,000 円 入会金 1,000 円

※・詳しくは宮城県支部事務局にお問い合わせください。

- ・日本てんかん協会ホームページからもご覧になれます。→ <https://www.jea-net.jp>



支部代表・松崎様からのメッセージ

宮城県支部には現在約 100 名の会員がおります。会員の構成は、当事者(患者本人・家族)、専門職そしてボランティアの皆さんです。

毎月、第2土曜日の午後に宮城県障害者福祉センターで定例会を開き情報交換と語り合いをしています。気兼ねなく語り合える場です。是非ご参加ください。

てんかんは、100人に1人の割合で患者がいるといわれていますが、まだまだ理解されていないところがあります。てんかんという病気の理解啓発の活動も続けていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。